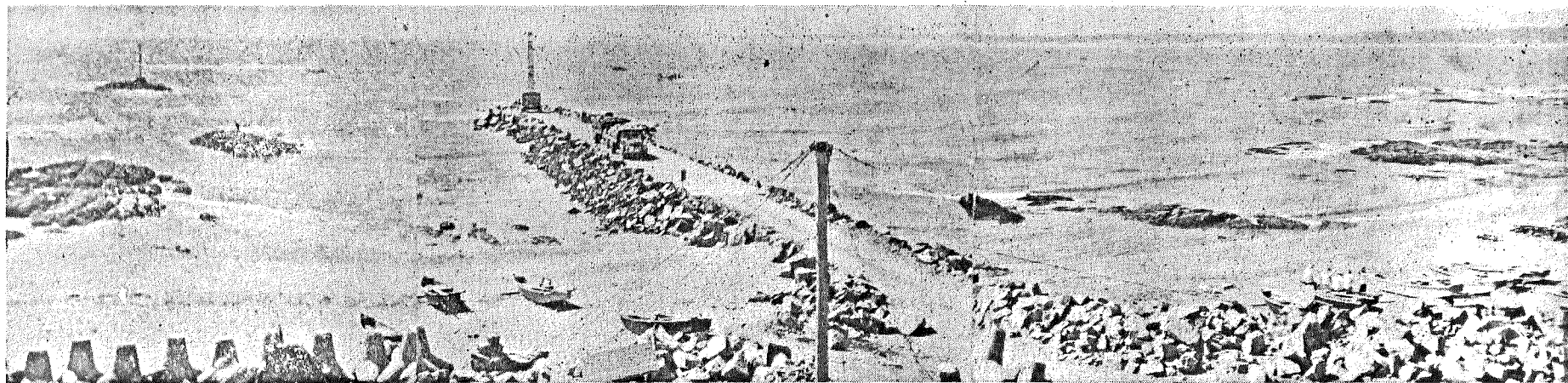


# 大洗町8年間のあゆみ



## すすむ港湾建設

「花の命は短かくて、苦しきことの多かりき」これは故人となつた女流作家林芙美子女史の日記の一節であるが、「八年間は短かくて、忙しきことの多かりき」過ぎし日をふりかへてみて一瞬そんな気がしてならない。

大洗町の誕生が昭和二十九年でそれから新しい町づくりがはじまつた。港湾建設の運動中、地元の船が河口で遭難し見舞に行つたらなきがらの前で遭難から「町長さん早く築港を造つて下さい。」と切願されたことは、いまでも私の胸になまなましく残っている。

今大洗港は五十年振りに町民の力で太平洋の中によみがえつた。「テトラポット」の一つ一つが力強い建設譜をかたててくれる。こ

としは東防波堤が完成するし、来年南防波堤が上つたら地元の船は入港できる。先日さんまを満載した船が入港しようと

した河口が浅くて入れず銚子へ行ってしまつた加工業者や鮮魚行商者の落膽、おそらく一千万円以上の損害といわれている。私達は

大洗港建設に更に拍車をかけなければならぬ。

想えば昭和三十三年二月、荒れ狂つた台風は私達の町を一瞬にして死の街と化してしまひ、逆巻く怒濤と山のような高潮は大洗から大貫海岸を襲つて数十戸の人家が全

くの危機に瀕したものであつた消防団や青年団の士俵築き、婦人会員の炊き出し、そして自衛隊の出動と徹夜の陣を張つて

今年の八月霞ヶ浦に基地をもつ水上自衛隊が訓練のため南中学校にきたので、「ヘリコプター」に乗せて貰つた。空から見る大洗町は、紺碧の太平洋をバックにして

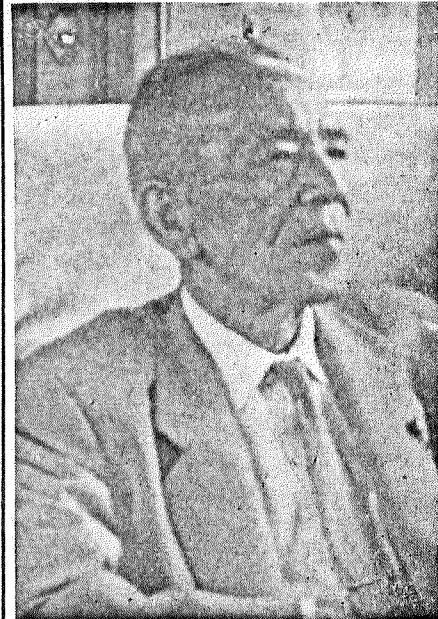
まことに絵のように美しかったが特に大貫土地改良区と広浦土地改良区は基盤の目的に区劃整理ができておつて、そのあざやかな黄金のみのりが印象的であつた。

現在課題となつてゐる農業構造改善も土地条件の整備が四〇パーセントを占めることになつてゐるの

なればならない問題が山程ある先月地協との会談で住宅不足を訴えられた。全くその通りである。私は今日あることを期し、国有地

である前原山七万坪を議会の協力を得て下した。まだここには二十戸しか建てていないが、四千坪

の住宅敷地は準備しているので財政が許せば建築を継続したいと思つてゐる。道路は年々整備を圖つて



た。あの夜の光景は永久に忘れられないであらう。一方沼沼の水は荒れ狂ひ浦干拓を護るため半鐘を鳴らして部落を動員したものであつた。いま漸く海岸には白い砂浜の上に防波堤が上り沼沼には秋の月が静かに干拓堤を照し

てゐる。先日の台風もことなきを得たが、これは私達が一つ心となつて自分自身を守るために立ち上つたためではなからうか。

水のほとりに住む私達は水の幸と水の災いとの二つを併せ持つてゐることを忘れてはならない。

今年の八月霞ヶ浦に基地をもつ水上自衛隊が訓練のため南中学校にきたので、「ヘリコプター」に乗せて貰つた。空から見る大洗町は、紺碧の太平洋をバックにして

まことに絵のように美しかったが特に大貫土地改良区と広浦土地改良区は基盤の目的に区劃整理ができておつて、そのあざやかな黄金のみのりが印象的であつた。

困難でありましたが条件もあり甚

この8年間をかえりみて

大洗町議会議長 大貫熊雄

昭和二十九年十一月、旧磯浜町旧大貫町が合併さ

れ新生大洗町が発

足してから既に八

御願ひ申し上げます。

不肖私も議員各位と共に町勢発

展のため老駈に鞭打つて微力を

傾注したいと存じますのでよろ

しく御支援と御協力を賜りたく

御願ひ申し上げます。

## 八年間の印象とその風雪

大洗町長 加藤 清



「花の命は短かくて、苦しきことの多かりき」これは故人となつた女流作家林芙美子女史の日記の一節であるが、「八年間は短かくて、忙しきことの多かりき」過ぎし日をふりかへてみて一瞬そんな気がしてならない。

第26号

発行所 大洗町役場  
印刷所 加藤 清  
岩城印刷所  
大洗町磯浜駅前

## 本町にライオンセンター

近藤長官現地視察に来町

明年度着手の見透し



科学技術庁近藤長官は東海村原子力センター視察のため九月十七日朝大臣に就任して初めて来県、原子力関係施設を見学したのち同日午後四時放射線科学研究所建設候補地となつてゐる当町夏海地区の現地を視察、町長の説明を熱心にききながら終始満足そうになつてゐた。

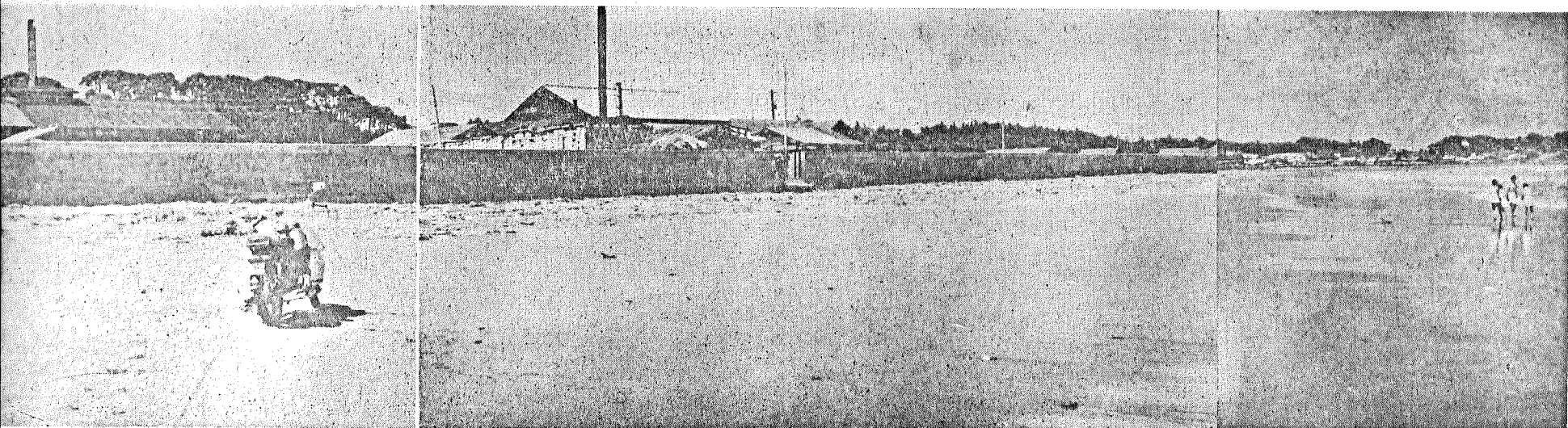
県庁で行われた記者会見で、「放射線科学研究所の候補地となつてゐる大洗町に昭和三十八年度から三ヶ年でライオンセンターを設置する。運営方式は特殊法人として総建設費七億六千九百万円。これが完成されるとライオンズの販売、廃棄物の処理、アイソトープ取扱技術者の訓練など国内のアイソトープ関係業務は一切ここで行う。アジアのアイソトープセンターとした」と語りました。

一昨年来原子力中央科学研究所誘致のため町をあげて猛運動を続けてきましたが、このたびの近藤長官の記者会見での正式発表によりその実現性がほぼ確実となつてきたわけですが、

将来は更にアジア諸国のアイソトープセンターにまで発展することと期待され前途は極めて明るいものがあります。

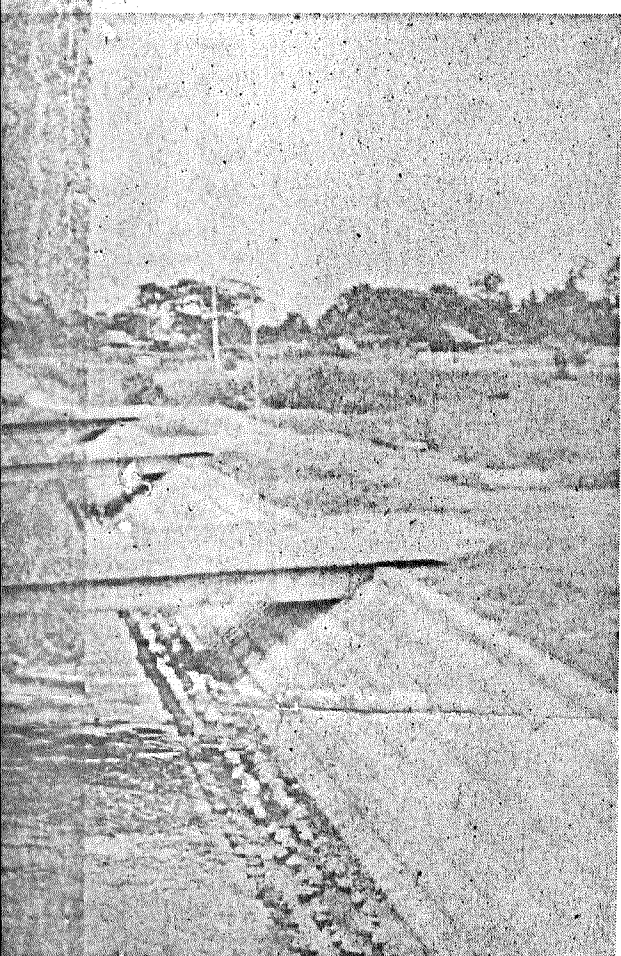
限りなき前進をつづけんとする大洗町にとつてこの上もない喜びであります。町民各位の一層の御協力をお願いしてやみません。

(写真は夏海の現地にて町長の説明をきく近藤長官)

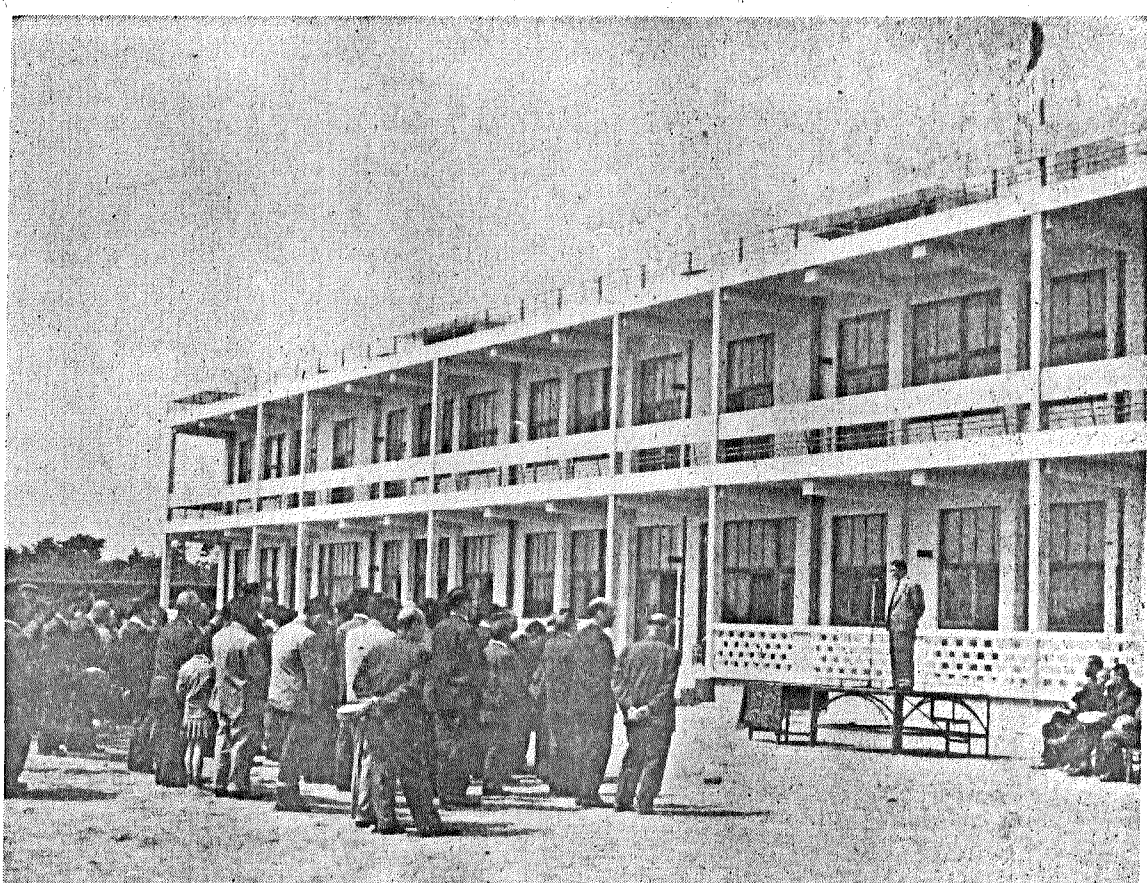


築かれた磯浜大貫海岸防災堤

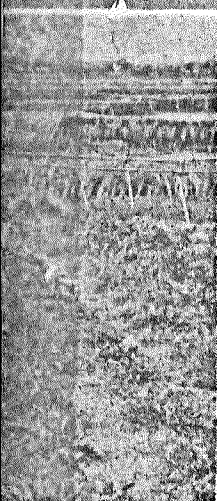
(延長1,448m 総工事費7千万円 内町負担43万円) (昭和35年～昭和37年)



⇐ コンクリートで新装なつた船溜棧橋  
(昭和31年)



⇐ 完成した統合中学校 (工費3,400万円) (昭和36年)



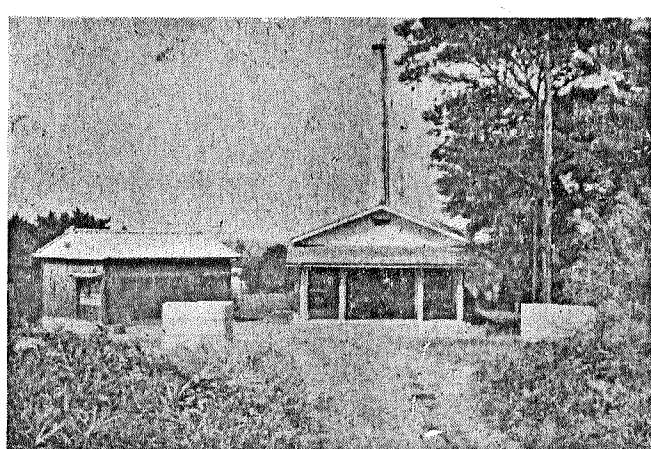
重油バーナー式  
新火葬場

(昭和31年)⇐

神社境内の園地化  
成る

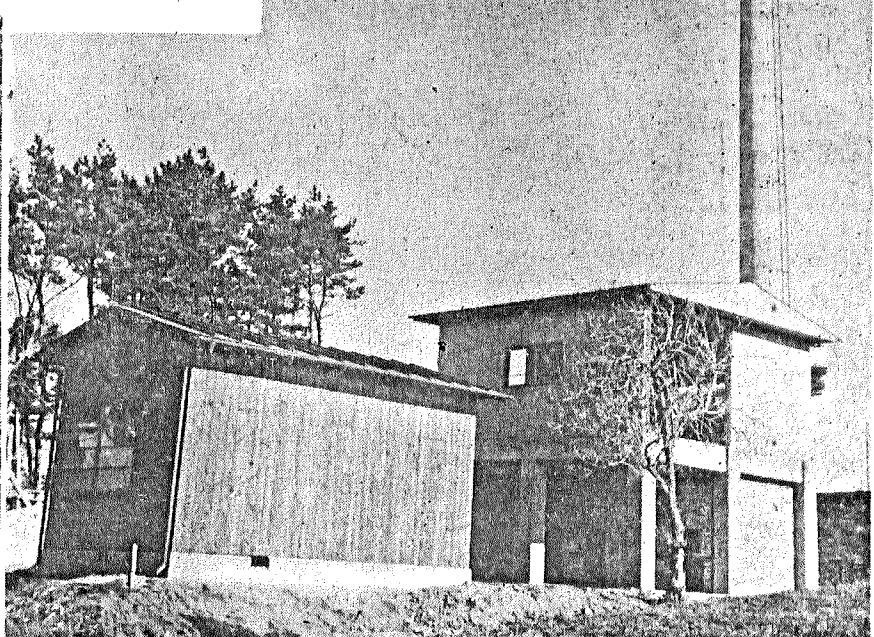
(昭和34～36年)

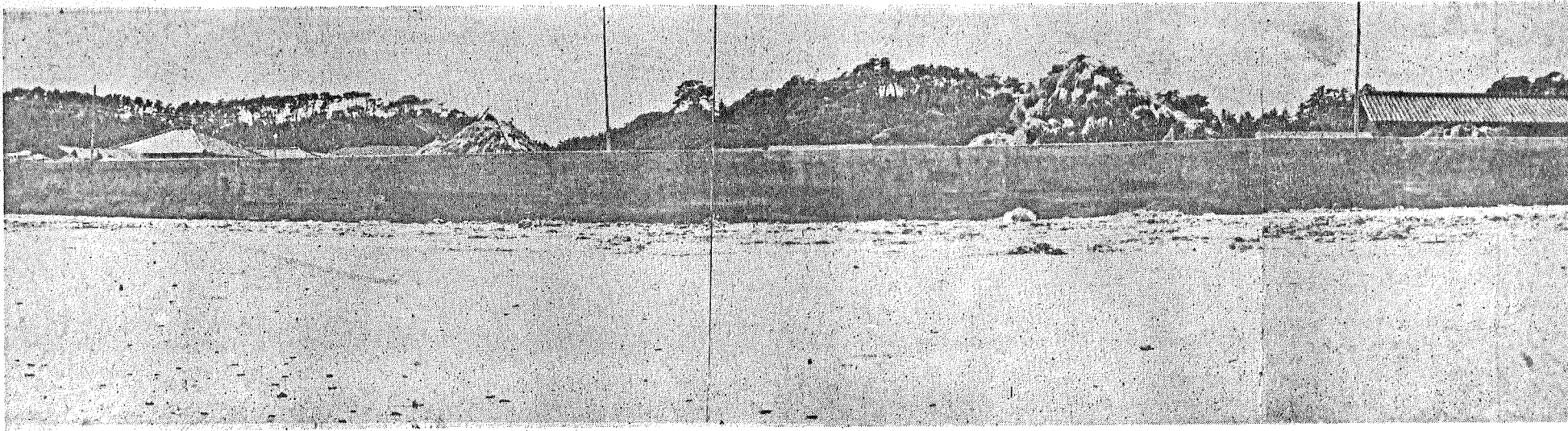
⇐



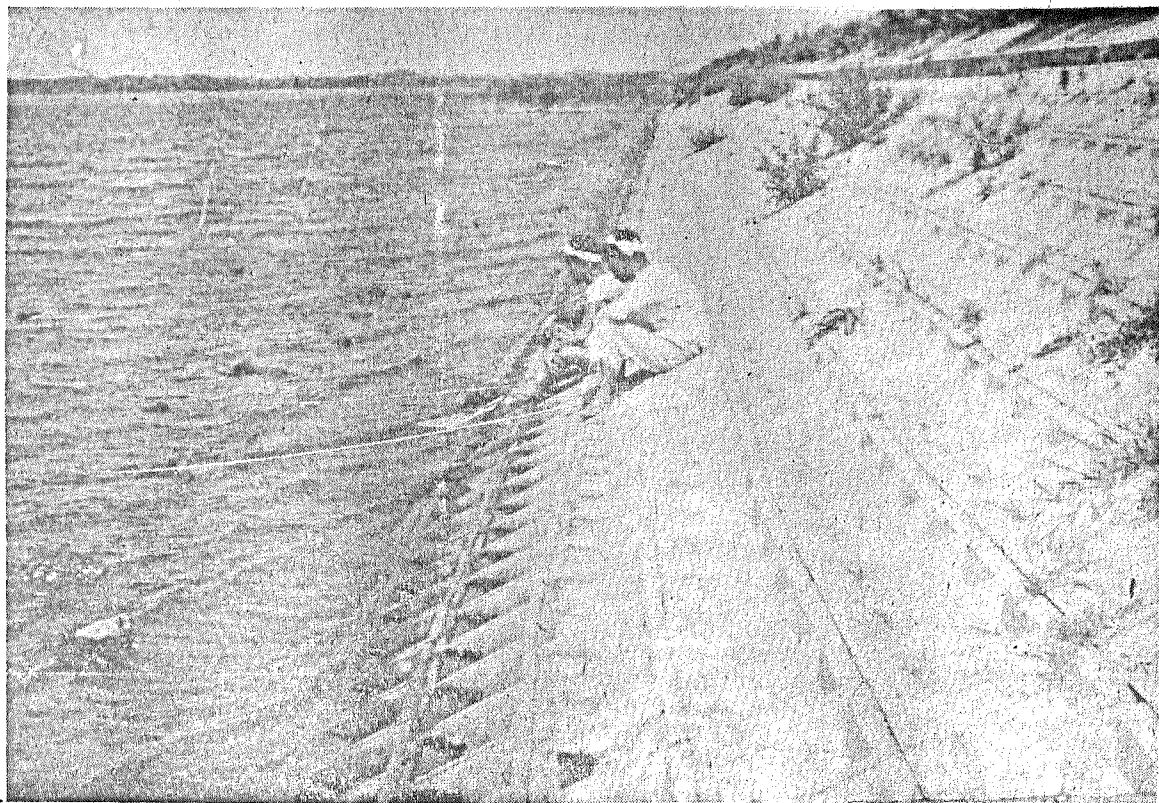
じんあい焼却炉完成

⇐ (1日に8トン処理ができる)昭和35年

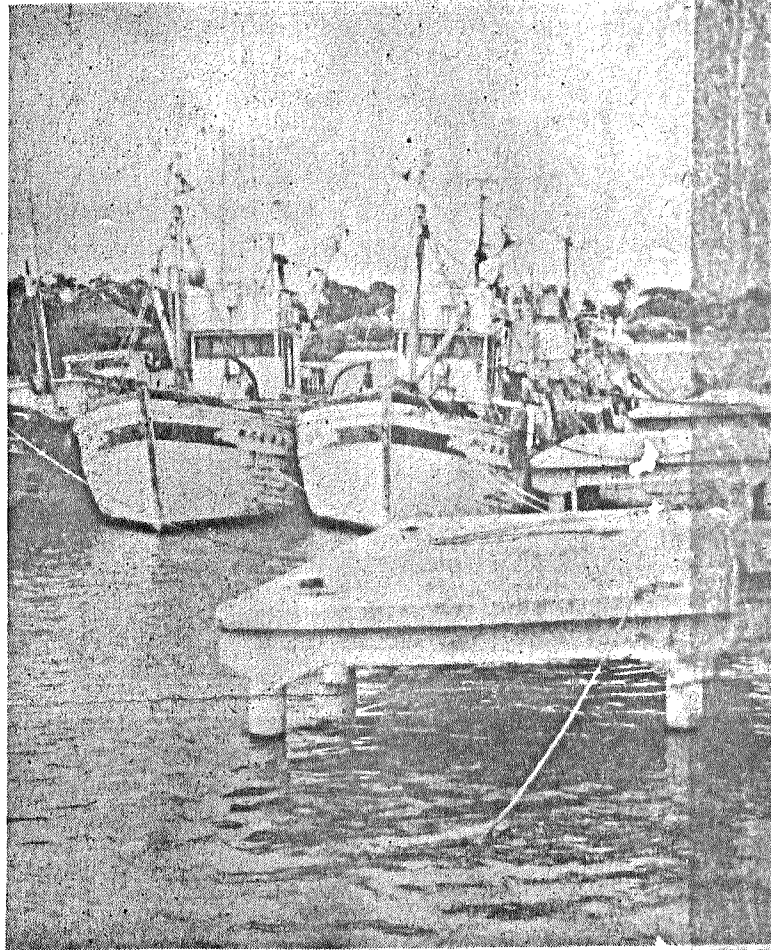




↑ 「高汐、高浪の不安一掃」完



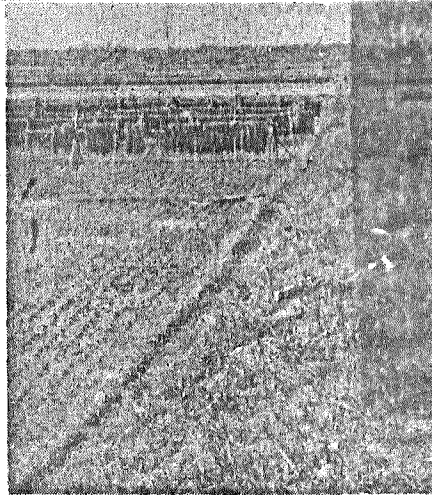
↑ 改修なつた広浦干拓場塘 (延長1,320m 工事費1,800万円)



← 舗装なつた幹線道路



→ 美田となつた大貫たんぼ  
(昭和33~35年)



宿願の小型船三漁協合併なる祝賀会風景 (昭和33年)

# 大洗町皆保険達成

国民健康保険大会 (昭和33年)

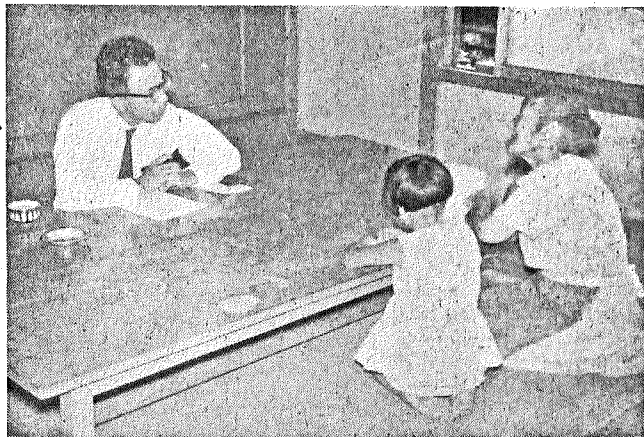


## 基本選挙人名簿に 登ろくしましよ

この名簿は、毎年九月十五日現在で確定されることとなります。在で調査員が皆様の家庭を訪問し、名簿から洩れていた場合はこの縦覧期間内に異議の申立をすることを出来ますので必ず名簿を縦覧し、調整された名簿は毎年十一月五日から十一月十九日まで皆様に縦覧して十二月二十日に名簿と

一、登録要件  
イ、日本国民で、今年十二月二十八、選挙犯罪者。

日において年令満二十才以上(昭和十七年十二月三十一日以前に出生)の者。  
ロ、引き続き三箇月以上(今年六月十六日以前から九月十五日まで引き続き)大洗町に住所を有する者。  
二、失格要件  
イ、禁治産者。  
ロ、犯罪者。  
ニ、選挙犯罪者。



### しんばい事相談所開設

(昭和36年)

大洗町独自の敬老年金が交付されることになった

(昭和34年)



三、調整期日等  
イ、調整期日：毎年九月十五日  
ロ、調整期限：同十月三十一日  
ハ、縦覧期間：同十一月五日から十一月十九日まで  
ニ、確定期日：毎年十二月二十日

## 比田港湾局長

大洗港の建設現場を視察する

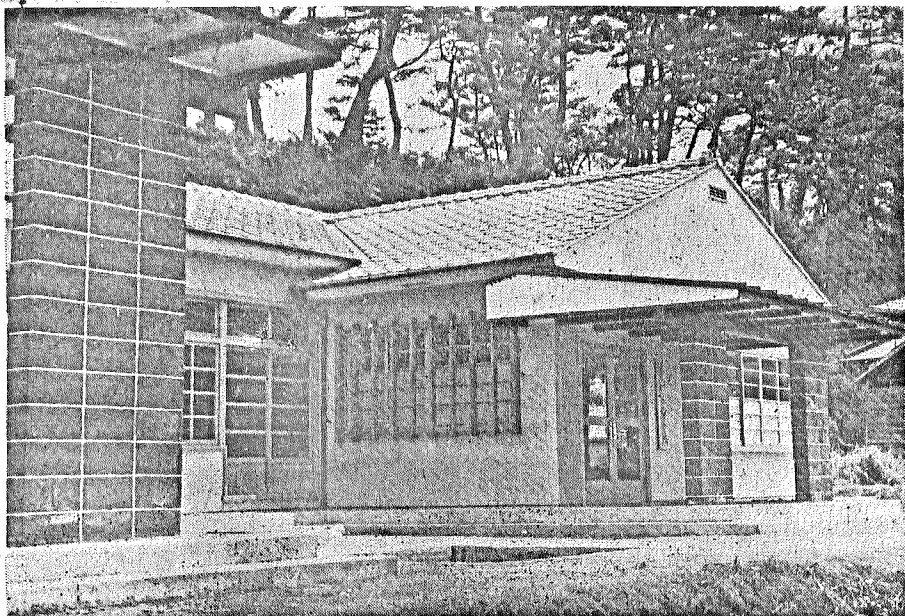
九月十六日午後比田運輸省第二港灣建設局長は企画課長及庶務課長及比田港灣課長と共に鹿島港現場でテトラポットの製造状況やの視察を終へて来町した。役場に

## 町民皆年金実現

(これで誰にも資格ができた)

国民年金始まる(昭和35年)

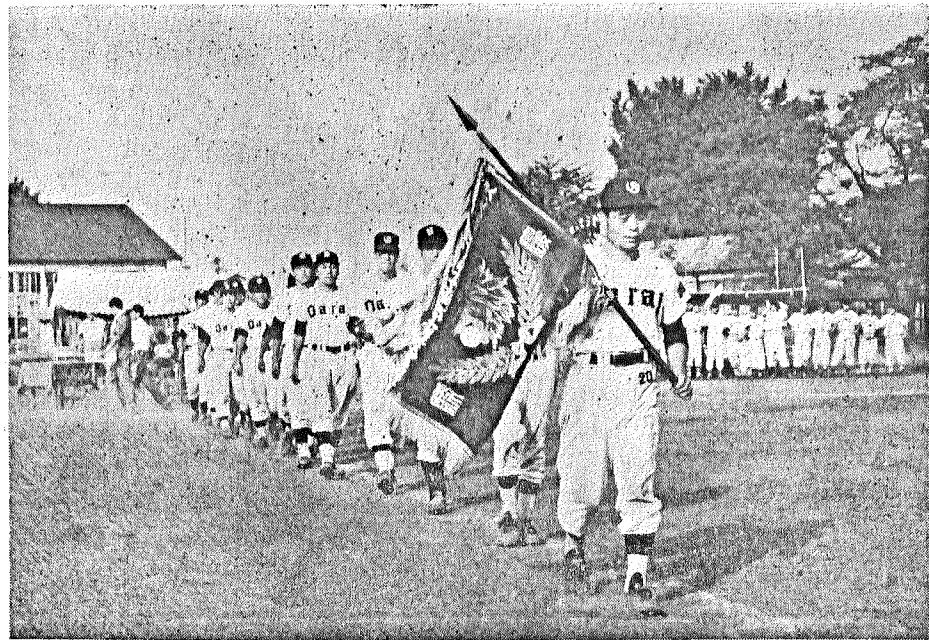
一昨年の三月から積み立てる方が六千人もいます。年金制度をふりかえつてみると、一番始めに、軍人や官吏といつた人達に、老後の生活保障としてきた年金がスタートしたものです。これは安い俸給に甘んじて一生国のためにつくした人々に対する報いという趣旨で行われた制度ですが恵まれない一般国民にとつては羨望の的でした。しかし老後の生活保障が役人の特権と考えられていたわけではありませんでした。その後厚生年金保険、船員保険が生まれ、各種共済組合制度ができました。こうしてこれらの制度が老後の生活保障の



## 保育所増設

第一は昭和30年  
第二は昭和33年

オール大洗チーム 茨城県市町村野球大会で初優勝 昭和36年



## 三十六年度決算の概要

支出総額一億四千六百万円

昭和三十六年度はわが大洗町に最高の金額となりましたが、議会とつてまことに記念すべき年でありました。全町民多年の宿願であつた港灣建設事業の着手、統合中学校の完成をはじめ原子関係施設の誘致運動など躍進大洗町の基盤確立のため大きな仕事です。希望をもつて一層の御健闘を心からお願いする次第です。

して次の様に語つた。  
「先日、台風で鹿島港の試験堤は若干沈下したが大洗港は微動だにない。これは全く大したものである。町長も大洗港だ、町長はそれに對し「然し町民の中には予算が少いとか何時出来るか判らないとか色々云はれて困ります」と答えた。局長は微笑を浮かべ「港灣予算というものは年々上つて

方法として一般サラリーマンの間にも普及していくことになりました。しかしこのようにして整備された保障制度も一般国民にとつては高嶺の花でした。このためにはどうして農民や、漁民の恩給、資格が出来たわけですか。

行くもので大洗港の予算のつけ方は全国地方港灣の中でもトップにある。来年は更に上げる予定であり、県港灣課長も、機会があつたらみんなの前で説明してやれ、何しろ五十年振りの大事業だからね。」と語られ港灣局長もうなづかれた。それにしても仕事が順調に進んでいることは悦ばしい。